

2022年6月28日

株主の皆さまへ

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

株主の皆さまのご質問・ご意見に関する当社の考え方等について

当社第20期定時株主総会に先立ち、多数のご質問・ご意見をお寄せいただきまして、ありがとうございました。お寄せいただいたご質問・ご意見のうち、株主の皆さまのご関心の高いと思われる事項等についての、当社の考え方等は下記のとおりです。

株主の皆さまには、今後ともなお一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

記

株主の皆さまのご質問・ご意見	当社の考え方等
SMBC 日興証券における不祥事について聞きたい。	SMBC 日興証券の元役員及び社員が金融商品取引法違反の疑いで逮捕・起訴され、また法人としての SMBC 日興証券も併せて起訴されたことにつきましては、株主の皆さまに多大なるご心配とご迷惑をおかけしていることを深くお詫び申し上げます。証券会社という立場にありながら、市場の信頼を損ねる事態を引き起こしたことについて、当社としても非常に重く受け止めております。 当社としましては、SMBC 日興証券の調査委員会の調査結果も踏まえつつ、再発防止等の今後の対応策の策定について、SMBC 日興証券をしっかりとサポートするとともに、当社においても、SMBC 日興証券に対する経営管理態勢の課題について、真摯に検証を行ってまいります。

株主の皆さまのご質問・ご意見	当社の考え方等
配当についての考え方を聞きたい。	当社は、配当は累進的とし、2020年度から2022年度の3年間で計画期間とする中期経営計画において、2022年度に配当性向を40%とすることを目標としております。この目標を達成するため、2022年度の配当金（予想）は、2021年度配当金から10円増配の220円としております。
株価についての考え方を聞きたい。	現在、当社の株価は企業価値に比して割安な水準にとどまっており、極めて遺憾であると考えております。当社としましては、引き続き、当社の企業価値を市場から評価していただくべく、中期経営計画の施策をしっかりと実行し、資本・資産、そして経費の効率向上に努め、企業価値を持続的に高めてまいりたい所存です。
自己株式取得についての考え方を聞きたい。	当社は、株主還元方針として、配当を基本に、機動的な自己株式取得も実施することとしております。昨年11月に発表した1,000億円を上限とする自己株式取得については、当社子会社であるSMBC日興証券において、金融商品取引法に違反した疑いのある事案が発生しておりますこと等を理由に、現時点では買付けを見送っております。今後の方針については回答を差し控えさせていただきますが、引き続き、機動的な自己株式取得を検討してまいります。
取締役候補者の選定に関する考え方を聞きたい。	当社の役員人事は、社外取締役を議長とし、委員6名中5名が社外取締役で構成される指名委員会において、客観的かつ公平に審議しております。役員には、経営理念に基づく価値を高いレベルで体現し、豊富な実務経験と高い能力、識見を備え、SMBCグループの発展に貢献できる人材を、出身銀行に関係なく、人物本位で登用しております。取締役の選任は、持続的な企業価値向上を実現する上での根幹のテーマであると認識しており、引き続き、指名委員会での審議を尽くしてまいります。

株主の皆さまのご質問・ご意見	当社の考え方等
取締役の多様性についての考え方を聞きたい。	昨今の急速な環境変化の中でも、取締役会が的確に経営の基本方針を定めるとともに、事業戦略の遂行について実効性の高い監督を行うため、取締役会は、多様なバックグラウンドを持った取締役で構成されていなければならないと考えております。そのため、指名委員会では、取締役会において有効な討議ができる適切な員数の維持に加え、取締役会全体としての高い専門性・多様性等の確保に配慮して、取締役候補者を選定しております。
SMBC グループ外の会社を兼職している役員がいるが、法令上の問題はないか。	当社の役員が他社の役員等を兼職する場合には、銀行法等の法令を遵守し、かつ当社役員としての職務執行に支障をきたさないよう、適切に確認を行っております。
第 20 期連結損益計算書の特別損失のうち、減損損失 108,920 百万円の内容について教えてほしい。	<p>減損損失の主な内容は、以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 三井住友銀行のリテール部門において、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化を受け、店舗やソフトウェアに関連する資産を減損（約 38,000 百万円）。 ✓ SMBC 信託銀行において、三井住友銀行と同様の理由で、ソフトウェア資産等の一部を減損（約 24,000 百万円）。 ✓ 当社連結子会社の SMBC Rail Services において、米国の可燃物等貨車運搬物に対する規制を踏まえ、将来的に稼働率の低下が見込まれる一部の貨車リース資産を減損（約 31,000 百万円）。

株主の皆さまのご質問・ご意見	当社の考え方等
<p>監査委員は監査に関するコストの妥当性や、監査法人の能力の十分性をどのように評価しているのか。監査負担・コストの軽減や、監査の質の向上に関し、監査法人に対して改善を求めているのであれば、教えてほしい。</p>	<p>監査委員会では、監査法人から随時、監査の報告を受け、主要な監査項目等について監査法人と協議を行っており、それを含め監査計画の内容、職務の遂行状況・能力の妥当性を検証し、監査の方法及び結果が相当である旨を確認しております。また、監査報酬については、毎期の監査計画及び実績を踏まえ、監査時間の妥当性、報酬見積りの算出根拠等につき、監査部の検証も踏まえて、確認・審議しております。引き続き、当社は、監査の質とコストの両面から、監査法人の業務の適正性を検証してまいります。</p>
<p>気候変動対策についての考え方を聞きたい。</p>	<p>SMBCグループは、経営理念に「社会課題の解決を通じ、持続可能な社会の実現に貢献する」と定めた上で、気候変動対策を重要な経営課題の一つと位置付け、グループ一丸となって取り組んでおります。</p> <p>具体的には、昨年度、2021年5月に、カーボンニュートラル実現に向けた長期行動計画である「気候変動対策ロードマップ」を策定し、SMBCグループ自身が排出する温室効果ガスを2030年までにネットゼロとすることをコミットいたしました。その後、同年8月に2050年までに投融资ポートフォリオ全体でカーボンニュートラルを実現することをコミットし、10月には国際的なイニシアティブである「Net-Zero Banking Alliance (NZBA)」(*)へ加盟いたしました。今年度も、2022年5月に、電力セクターにおける温室効果ガス排出量の中期削減目標を設定するなど、気候変動への対応を着実に強化しております。</p> <p>詳細は、本年5月13日付当社ニュースリリース「気候変動に対する取組の強化について」をご覧ください。</p>

株主の皆さまのご質問・ご意見	当社の考え方等
	<p>企業価値の向上のためには、従来の経済的価値の追求のみならず、社会的価値の創造がこれまで以上に必要になると考えています。SMBCグループは、気候変動を含む様々な環境・社会課題の解決に向けた取組みを一段と強化してまいります。</p> <p>(*) 国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP FI) の主導のもと 2021 年 4 月に発足した、科学的根拠に基づく中長期の温室効果ガス排出量削減目標の設定やその進捗報告を通じて、2050 年までに投融资ポートフォリオから排出される温室効果ガスをネットゼロとすることを目指す国際的なイニシアティブ。</p>
<p>環境破壊や人権侵害等の懸念から反対運動が起きている石油・ガス関連事業への対応方針は。</p>	<p>SMBCグループは、環境・社会に対するアプローチを包括的に示し、持続可能な社会の実現に貢献する姿勢を明確にするため、「SMBCグループ 環境・社会フレームワーク」を制定しております。加えて、SMBCグループは、グループの与信業務の普遍的かつ基本的な理念・指針・規範等を明示した「グループクレジットポリシー」に、公共性・社会性の観点から問題となる与信等を行わないという基本原則とともに、地球環境に著しく悪影響を与える懸念のある与信等を行わないことを明記しております。</p> <p>また、三井住友銀行では、民間金融機関の環境・社会配慮基準である「エクエーター原則」を採択しております。環境・社会に多大な影響を与える可能性がある大規模プロジェクトに対する融資やプロジェクトファイナンス・アドバイザーサービス (FA 業務) においては、プロジェクト事業者に対し、気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 提言への対応や、地域住民等への FPIC (Free, Prior and Informed Consent/自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意) の尊重を含め、気候変動や人権をはじめとする環境社会配慮への取組みを求めるなど、慎重に対応することとしております。</p>

株主の皆さまのご質問・ご意見	当社の考え方等
<p>SBI グループとの包括的資本業務提携について教えてほしい。</p>	<p>6月23日、SMBC グループは、SBI グループとの間で包括的資本業務提携に関する基本合意書を締結するとともに、当社が SBI ホールディングス株式会社の第三者割当増資を引き受ける旨を発表いたしました。</p> <p>SBI グループとは、これまでも提携関係にありましたが、個人向けの資産運用・決済ビジネス等を中心に提携が順調な成果をあげる中、両グループ間で、資本関係を含む更なる連携の促進に関して協議を進めた結果、今回の合意に至ったものです。今後、個人向けデジタル金融サービスにおける業務提携について詳細を協議するとともに、更なる協業についても協議・検討を進めてまいります。SMBC グループとして、今回の提携のメリットをしっかりと確保できるよう、取り組んでまいります。</p> <p>なお、SMBC 日興証券について、グループの中核証券会社としての位置づけや、銀行と証券の連携ビジネスに取り組んでいく方針は変わりません。</p> <p>本件に関する詳細は、6月23日付当社ニュースリリース「SMBC グループと SBI グループによる包括的資本業務提携に関する基本合意及び三井住友フィナンシャルグループによる SBI ホールディングスの第三者割当増資の引受けについて」をご覧ください。</p>

株主の皆さまのご質問・ご意見	当社の考え方等
インターネット銀行への移行を進めていく予定はあるか。	<p>新型コロナウイルス感染拡大による社会的な非対面ニーズの高まりを踏まえ、お客さまのニーズにお応えすべく、三井住友銀行では、個人向けインターネットバンキングのサービスである SMBC ダイレクトについて、機能を強化しております。具体的には、振込等のお手続きのほか、各種商品へのお申込みも頂けるよう、お取引の対象範囲を拡充しております。今後もお客さまのニーズに合わせ、より便利に、より安全にご利用いただけるよう、インターネットバンキングの強化に努めてまいります。</p> <p>一方で、対面でのご相談・お手続きのニーズは残ることから、店舗はお客さまの対面ニーズにお応えできる重要なチャネルだと考えております。そうした観点から、店舗での営業を継続するとともに、お客さまとの接点を創出するための新規出店も検討してまいります。</p>
三井住友銀行における資産運用ビジネスへの取組方針について教えてほしい。	<p>三井住友銀行では、幅広いお客さまの資産運用ニーズにお応えすべく、サービスの拡充に努めております。</p> <p>具体的には、店舗をより深くお客さまのご相談に対応するための「コンサルティング」の場とすべく、全体の店舗数は維持しつつ、対面で運用や相続の相談を受けられるコンサルティングに特化した店舗に移行する改革を進めております。</p> <p>加えて、個人向けインターネットバンキングのサービスである SMBC ダイレクトの機能を強化しており、振込等のお手続きのほか、各種商品のお申込みもいただけるよう、お取引の対象範囲を拡充しております。今後もお客さまのニーズに合わせ、より便利に、より安全にご利用いただけるよう、インターネットバンキングの強化に努めてまいります。</p> <p>また、従来の金融機関の枠組みに留まらない、非金融サービスも含む付加価値の高いサービス提供を通じて、お客さまの次世代への円滑な資産移転をサポートしてまいります。</p>

株主の皆さまのご質問・ご意見	当社の考え方等
<p>海外ビジネスの推進についての考え方を聞きたい。</p>	<p>SMBC グループは、海外事業において効率的な業務運営体制を強みとし、規模だけを追求するのではなく、地域ごとの重点施策や戦略を明確化し、それに則した効率的な経営資源の投入や人員配置、拠点運営を行うことで、競争力及び収益力を高めていく戦略をとっております。</p> <p>高い経済成長率を維持しているアジアを中心とする新興国においては、同地域の成長を捕捉していくことが SMBC グループの企業価値の向上に資すると考えております。2021 年度にインド、ベトナム、フィリピン各国において実行いたしました出資案件に関し、統合作業の推進や出資先の成長戦略の支援等を通じて、アジアに第 2、第 3 の SMBC グループを創ることを目指すマルチフランチャイズ戦略を進めてまいります。</p> <p>また、欧米においては業種別アプローチやグローバルネットワークを活かしての案件獲得、米国総合証券会社 Jefferies との資本業務提携を活かした協業等、SMBC グループならではの CIB ビジネス(*)の強化を進めており、お客さまの課題に応じた財務戦略やプロダクトの提案等、付加価値の高い金融サービスを銀行業務・証券業務の連携を通じて提供することで、一層収益性・効率性の高いビジネスモデルを目指してまいります。</p> <p>(*)「Corporate and Investment Banking」の略。法人のお客さまに対し、預金・貸出等の商業銀行業務と、資本市場での資金調達・M&A アドバイザリー等の投資銀行業務を一体的に展開していくビジネスモデルのこと。</p>

株主の皆さまのご質問・ご意見	当社の考え方等
株主総会のインターネット同時中継を視聴している株主の数を教えてほしい。	昨年6月29日に開催された当社第19期定時株主総会において、インターネット同時中継を視聴された株主さまは、353名でした。
「定時株主総会招集ご通知」の封筒の窓部分がプラスチックだが、SDGsの観点で、リサイクル可能な紙を使用してはどうか。	貴重なご意見を賜り、感謝申し上げます。頂戴したご意見を踏まえ、今後の対応を検討してまいります。

以 上